

「憐み vs 裁き」 <先週の講壇より>

「あわれみは、さばきに打ち勝つ」ヤコブの手紙 2:13 b【口語訳】

先日のアメリカのニュースで、AI映像が裁判で証言したということを報道していました。それは、トラブルによって殺されてしまった男性が、その犯人に向かって語り掛けるといふものです。AIによって再現された男性の映像は、「私は赦しと、赦しを与えてくださる神様を信じています。これまでも、そして今も、これからもずっと信じています」と、自分を殺した犯人に向かってまるで生きてるように語り掛けました。そして、お互いに愛し合い、お互いの人生を精一杯に生きるようにと促したのです。

これをAIに組み込んで話させたのは、亡くなった男性のお姉さんでした。お姉さんは「私は許すことはできない、でも弟ならきっとこう言うはず」という確信のもと、これを作り、そして裁判長に許可を得て、信仰によってこの赦しのメッセージを流したのです。

神様の憐れみは、私たちの罪を赦し、救いを与える、その愛の十字架によって示されました。この報道と同じことは出来ないかもしれませんが、でも私を救ってくださったお方の愛に応えるような、そんな生き方を選び取っていく者とさせていただきたいと願われます。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2025年5月25日

オレンジ郡 キリスト教会

礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827-6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「あなたがたは世の光です。」

マタイ5:14

☆集会案内☆

日曜礼拝 : 09:30-10:30

ブレイク : 10:30-10:45

聖書クラス : 10:45-11:45

(現在第二と第四または第五週)

